

2014年5月7日

ヘンケルジャパン、「人とするまのテクノロジー展2014」出展
～軽量化、生産プロセスの最適化を中心にトータルソリューションを提案～

ドイツの化学・消費財メーカー ヘンケルの日本法人ヘンケルジャパン株式会社(本社:東京都品川区 社長:玉置 眞)のトランスポート&メタル事業本部は、「人とするまのテクノロジー展2014」(会期:2014年5月21日～23日 会場:パシフィコ横浜)に出展いたします。

ヘンケルジャパンは自動車製造における「軽量化」「省エネルギー」「生産プロセスの最適化」を実現する接着剤・シール剤・表面処理剤などのトータルソリューションをご提案します。

ブースでは、ポリウレタン系コンポジットマトリックス樹脂「ロックタイト MAX(マックス)シリーズ」を使用したリーフスプリングとオプションルーフの実物パーツのほか、ヘンケル製品を使用した各種サンプルを展示します。また、会場内ワークショップスペースでは2つの講演を予定しており、新製品「ロックタイト MAX3(マックススリー)」の詳細と「異種材接着」テクノロジーをご案内します。

<展示会概要>

名称:人とするまのテクノロジー展 2014

会期:2014年5月21日(水)～23日(金)10:00-18:00 ※最終日のみ 17:00 終了

会場:パシフィコ横浜 展示ホール

主催:公益社団法人自動車技術会

概要:自動車業界の第一線で活躍する技術者・研究者ための自動車技術専門展

<ヘンケルジャパンブース>

小間番号:192



<ヘンケルジャパン ワークショップ>

会場: 展示会場内 展示ホールD

- ① 日時: 5月21日 (水) 14:00 ~14:45
内容: コンポジット用マトリックス樹脂「LOCTITE MAX3」と
コンポジット用接着剤
- ② 日時: 5月22日 (木) 17:00 ~17:45
内容: 量産車の軽量化: 異種材料の接着ソリューション



ヘンケルについて

ヘンケルはブランドとテクノロジーのグローバルリーダーとして、ランドリー&ホームケア、ビューティーケア、アドヒーズブテックノロジーズ(接着技術)の3つの分野で事業展開をしています。ヘンケルは1876年の創立以来、コンシューマービジネスおよび産業分野において、Persil(パーシル)、Schwarzkopf(シュワルツコフ)、Loctite(ロックタイト)などに代表される有名なブランドの数々と共に、グローバルにおけるマーケットリーダーとしての地位を維持しています。ヘンケルの従業員数は約47,000人であり、2013年度の売上高は163億5千5百万ユーロ、調整後の営業利益は25億1千6百万ユーロを計上しました。ヘンケルの優先株はドイツ株式指数DAXのリストに入っております。

ヘンケルジャパンホームページ: <http://www.henkel.co.jp>

ヘンケルジャパンフェイスブックページ: <http://www.facebook.com/HenkelJapan>

— 本件に関するお問合せ先 —
ヘンケルジャパン株式会社 接着技術事業部門
マーケティング部 担当: 小林由紀
TEL: 045-758-1869 e-mail: yuki.kobayashi@jp.henkel.com

— 本件に関する報道関係者のお問合せ先 —
ヘンケルジャパン株式会社
広報代行: 共同 PR 高田、峰松 Tel: 03-3571-5236